

4 衛生プラント基本構想策定業務 仕様書

第1章 総則

(適用)

第1条 本仕様書は、神栖市（以下、「甲」という。）が発注する 4 衛生プラント基本構想策定業務に適用する。受託者（以下、「乙」という。）は、本仕様書に基づき、業務を遂行するものとする。

(目的)

第2条 本業務は、下水・浄化槽によるし尿処理の普及が進んでいくなかで、神栖市における今後のし尿処理施設の重要性、また施設の老朽化などを踏まえ、第一・第二衛生プラントにおける今後について、改修による現状維持または、用地の選定を含む施設の新設について等の基本構想を策定することを目的とする。

(対象施設)

第3条 神栖市第一衛生プラント（神栖市東和田8番地） 1 棟 延床面積539㎡
・事務所兼処理棟 構造：RC造 階数：3階建て（地下1階含む）

神栖市第二衛生プラント（神栖市波崎801番地） 3 棟 延床面積1,157㎡
・管理棟事務所 構造：RC造 階数：2階建て 延床面積240㎡
・処理棟 構造：RC造 階数：2階建て（地下1階含む） 延床面積518㎡
・処理棟 構造：RC造 階数：1階建て 延床面積399㎡

(委託期間)

第4条 委託期間は、契約締結の日の翌日から令和5年2月28日までとする。

(事業者の資格要件)

第5条 乙は、以下の要件を満たすものとし、業務着手時にそれを証明できる書類（写し）を提出すること。

（1）平成19年4月1日以降に、公共機関が発注したごみ処理施設（し尿処理施設を含む）に関する基本構想策定業務または基本計画策定業務を元請として適正に履行した実績を有すること。

(管理技術者)

第6条 乙は、業務全般にわたり技術的管理及び秩序正しい業務を遂行するため、管理技術者として、技術士（総合技術監理部門「建設-都市及び地方計画」又は建設部門「都市及び地方計画」）又

はRCCM（都市計画及び地方計画）の資格を有する者を適正に配置すること。

（作業実施計画書等の提出）

第7条 乙は本業務の着手に先立ち、甲に下記の書類を提出するものとする。

- （1）作業実施計画書及び工程表
- （2）着手届
- （3）第5～6条を証明する書類

（疑義）

第8条 乙は、この仕様書に定める事項について疑義を生じた場合は、甲と協議の上その指示に従うものとする。

（資料管理責任）

第9条 乙は本業務中において甲から貸与のあった資料等については、その重要性を認識し破損、滅失、紛失等の事故のないように取り扱うものとし、作業終了後速やかに返却するものとする。

（秘密の保持）

第10条 乙は、委託業務の処理に際して知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

（打合せ協議）

第11条 本業務の打合せ協議は、業務着手時、中間時、納品前の3回実施することを基本とするが、業務遂行上、必要な場合は適宜実施するものとする。

（検査）

第12条 本業務の完了後、乙は甲の完了検査を受け、修正の指示があった場合は、速やかに修正を行い、再検査の合格をもって業務完了とする。

（損害賠償及び瑕疵担保）

第13条 本業務中に乙の責めに帰する事由により第三者に与えた損害等は、すべて乙の負担とする。
また業務完了後の過失及び疎漏に起因する不良箇所が発見された場合は、甲の認める修正・補足及びその他必要な作業を乙の責任で行うものとする。

第2章 業務内容

（計画準備）

第14条 計画準備・資料収集は、業務全般にわたる具体的な作業方法、人員の配置等を考慮し必要な準備を行うものとする。また貸与された資料の整理及び必要資料の収集を行うものとする。

（目的・背景・対象施設・計画期間等の整理）

第15条 第一・第二衛生プラントの運用環境の現状等を整理し、施設の稼働状況および施設の老朽化などの観点から、本構想策定の目的を設定し、計画期間を設定する。

（対策費用）

第16条 前条までの結果を踏まえ、基本構想実行にかかる費用を算定するものとする。

（計画書作成）

第17条 前条までの結果を踏まえ、下記の構成で衛生プラント基本構想策定業務として取りまとめるものとする。

- ・基本構想の目的、処理施設の維持や新設など今後の展開、計画期間と費用

（成果品とりまとめ）

第18条 計画書は製本し、「4 衛生プラント基本構想策定業務報告書」はファイル綴じするものとし、かつ電子データでも納品するものとする。

第3章 成果品

(成果品)

第19条 本業務の成果品は、以下のとおりとする。

- (1) 4 衛生プラント基本構想策定業務報告書…………… 10 部
- (2) 上記(1)の電子データ……………一式